

あんなにいやだったのに、終わってみればやはりやってよかった！

真光寺川を清流にする会
世話人 山口 拓郎

毎年、真光寺中の1年生が真光寺川のクリーン作戦にやってくる。今年も9月28日、晴天の下118名の1年生が元気一杯清掃作業を行った。後日、大山先生が感想文を届けて下さった。その中の一文。「最初、真光寺川クリーン作戦をすると聞いて、心の中ではいやだなと思っていました。(中略)心の中で文句を言いながらやっていたけど、段々面白くなってきました。最後には宝探しをしている気分でした。やはりやってよかったと思いました」ゴミを大事そうに抱えて帰った子ども達の写真が思い出される。

{ 8 月 }

8月10日(木)一木会
夕方、魚民に集まる。出席7名。
河原に繁茂している雑草の刈り込み策が主要議題。冬場の作業として検討したが我々の手に負えそうもないので、南東建に相談することになった。

8月13日(日)清掃作業日
酷暑が続く。9時半、開戸親水に集合する。玉川大学生2名と鶴川高校生1名も参加する。日射しが強く水の中の方が快い。12時から、いちよう会館で反省会。

8月20日(日)
能ヶ谷いこい会館運営委員の待井さんから電話がある。「会館に置いてある作業用の一輪車を撤去してほしい」町内会の理事会で決定された由。
経緯を知りたいので町内会長に面談をお願いする。夕刻、駅前喫茶店でお話を聞く。町内会長、副会長。当方は山本さんに同道願う。町内会長から次の通り趣旨が説明された。「能ヶ谷町内会は会長始め役員が改選された。従来の運営を改革することにした。その一環として町内会参加7団体以外の物品は一切預からないことにした」
能ヶ谷いこい会館は真光寺川に沿った会館で発足当時から格別の関係にあった。「まつり」や学校の体験学習に(有料で)使わせてもらってきた。協力のシンボルとして会館敷地内に「メダカ池」を造った。野鳥の会機関誌のバックナンバーを寄贈させてもらった。月々の清掃作業の後の反省会には(有料で)使わせてもらった。これらの経緯を説明し善処を要請した。これに対して新会長の方針は「これからは従来多少イメージに流れていた運営を糾したい。地元優先で運営していきたい」ということだった。会の行動基準第一項に「私たちの活動は、地元や地域の人たちに支持されているか」と謳っている。地元優先の原則は貫かなければならない。従来の関係を考えると納得しがたい点もあるが諒解して辞去した。

8月21日(月)
早朝、能ヶ谷いこい会館から一輪車を撤去し我が家の車庫に収納した。

8月31日(木)水質検査サンプル採集
酷暑。7時に出発、4カ所からサンプルを採集する。10時に松前さんへお渡しする。シャワーを浴びて一息つく。

{ 9 月 }

9月5日(火)
先月、ボランティアスクールで来た玉川大学のK君から10月の清掃作業に参加したい旨、電話があった。大歓迎と伝える。

9月7日(木)一木会
夕刻、魚民に集合。6名。
1) 真光寺中のトークと清掃作業 2) ごみフェスタ 3) 能ヶ谷いこい会館の件 4) 南東建との打合せ等について討議する。

9月10日(日)清掃作業日
朝から容赦ない日射し。9時半、開戸親水に集合。約束通り玉川大学生2名も参加。多くの魚の群れが見られた。晴天が続いているせいだろうか。昼前に終了、いちよう会館で反省会。

9月20日(水)鶴見川水系整備計画
19時から市民ホールで説明会が開催される。100名近い市民が集まる。岩上、黒田さん等と参加する。
説明後、熱心な質疑応答があった。聴衆の一人から真光寺川について川の中に繁殖している樹木と芦について伐採するよう提案された。ただ、根こそぎ除去すべきであるという強硬論には賛成しがたかった。洲は鳥や爬虫類に恰好のネグラを提供しているからである。

9月21日(木)真光寺中でトーク
7時に家を出て、水質検査のサンプル採集に向かう。快晴、結構日射しは強い。9時

過ぎまでに採集を終えて松前さんにお渡ししホッとす。
午後、真光寺中へ。
ここ数年、1年生を対象にトークをさせてもらっている。早く着いたので運動場の池を見せてもらう。プランタンに草が茂り多くのメダカが泳いでいた。校長先生もい池になったと喜んでおられた。校庭の側面にある空地もどうかしたいとおっしゃっていた。体育館で1時間トーク、質問が随分あつたのは嬉しかった。後日、大山先生が感想文を届けて下さった。

9月28日(木)真光寺中の清掃作業
前日かなり強い雨が降った。増水が懸念された。6時に川を見に行く。やや水嵩を増しているもののきれいな水が流れており堰塔する。8時、大山先生に状況を報告する。昼食は広袴公園で取ってもらうことにし、山本さんから鳥の話をしてもらう。学校の池に植える草花は二田さんが対応して下さい。12時過ぎ、高橋、桜井、田中さんと下堰親水で待つ。
118名が上流と下流、二手に分かれて清掃作業にかかる。小一時間で作業は終わる。作業後の自由時間、水をかけ合い大はしゃぎ、悲鳴と歓声が交差する。3時過ぎ、拾ったゴミを持って隊伍を組んで帰って行った。後日寄せられた感想文には、「楽しかった」としたためたものが多かった。

{ 10 月 }

10月1日(日)ごみふえすた2006
例年、鶴三小の4年生にステージで研究成果を発表してもらってきた。今年は残念な



がら日程的に運動会とぶつかってしまった。横山先生から模造紙に描いた研究成果をお預かりしエコネットの隣のブースに展示する。エコネットのブースでは中村、山岡、二田、山本さんをお願いしてじゅず玉のお手玉作りを実演してもらう。客がひきもきらず息つく暇もない状況だった。生憎午後から激しい雨となった。もう1時間待つてくれたらと天を仰いで嘆息した。

10月5日(木)一木会
18時半、魚民にて開催、7名。
主要議題は1) TRネット・クリーン作戦 2) 真光寺中の側面空地の件 3) 南東建への折衝等であった。

10月8日(日)TRネットクリーン作戦
例月の清掃作業日と重なった。本部からは岸由二先生が来て下さる。9時半、開戸親水に集合し、作戦開始。
岸先生から特定外来植物「アレチウリ」「オオアサモ」の繁殖についてご注意があった。河川によっては大繁殖して在来植物が駆逐されつつあるそうだ。真光寺川は矢崎橋下流、権現橋周辺に若干繁殖しているが、大繁殖には至っていないとのこと。今後、努力して水際で駆逐したものだ。11時、作戦終了、プラス・ワンとして真光寺中の池と側面空き地を状況を確認に行く。

10月12日(木)南東建と打合せ
午前中、境川の清掃作業。オオブダグサが一面の生い茂り繁殖は懸念する。作業終了後松井さんと南東建・東工区事務所に向う。松井さんは不在だったが永村さんが対応して下さい。一輪車等の収納庫、川の中の葦等の伐採の2点についてお話しする。検討の上後日回答することを約束して下さい。

10月19日(木)南東建から回答
先日の申し入れについて回答がある。
1) 収納庫は南東建の作業道具収納庫として設置して下さい 2) 繁殖した樹・葦等については11月に伐採する 全面的に受け入れて下さる。感謝。

10月25日(水)水サンプルの採集
スケジュールが混み無理したのが祟って発熱ダウンしてしまう。山本さんをお願いして採集してもらう。ありがたい。

10月31日(火)南東建・飯田係長来訪
先日、要請した2点について正式の回答を頂く。鳥や爬虫類のネグラになる洲の保存と魚類の隠れ家となる魚礁の設置をお願いする。また、岸先生からご注意のあった特定外来植物の駆除については我々も努力する旨お話しする。我々の希望を受け入れて下さる真摯な姿勢はありがたく感じる。(この項おわり)